

Español Lengua Extranjera



Preparación al examen

Adaptado a
los nuevos modelos
de examen

Especial DELE A2 Curso completo

Curso:
Pilar Alzugaray
Mónica García-Viñó
Modelos de examen:
Mónica García-Viñó



Audio descargable

Requerido para obtener
la nacionalidad española

 edelsa

Comprensión de lectura

読解問題

TAREA 4 P44・145 重要語句・フレーズ

第一段落

según ○○「○○によると」ー 書き言葉・文章でよく使われる表現です。

último / última「最後の」「最新の」

ここでは「最新の」という意味で使われています。

encuesta de seguimiento「追跡調査」

no estudia **ni** trabaja「勉強しないし働かない」

このように否定の内容を続ける時は、yではなく**ni**で繋がります。

第二段落

representar「表す」「意味する」「代表する」

desocupado / desocupada「仕事のない」「暇な」

coordinador / coordinadora「コーディネーター」「まとめ役」「責任者」

funcionar「稼働する」「機能する」

intentar+動詞原型「～しようとする」「～しようと企てる」

socioeconómico / socioeconómica「社会経済の」「社会経済的な」

sin estudios **ni** trabajo 「学も仕事もない」

この部分も、先ほどと同じように否定の内容が続けているので **ni** を使っているのです。

mercado laboral 「労働市場」

decir que ○○ 「○○と言う」

es posible + 動詞原型 「～する可能性がある」「～するかも知れない」

mejorar 「改善する」

体調が良くなる、と言う意味では mejorarse となります。

cifra 「数値」

第三段落

empleo 「雇用」

afirmar que ○○ 「○○と言明する」「○○だと肯定する」

sufrir 「苦しむ」

discriminación 「差別」

tener dificultad para + 動詞原型 「～することに困難を抱えている」

tanto … como ～ 「…と同じく～も」

tienen verdaderas dificultades **tanto** para conseguir vivienda **como** para acceder al sistema de salud y de educación. この部分ですが,,,

「住居を手に入れる（確保する）ことと**同じく**、医療システムや教育システムにアクセス**すること**に本当の困難を抱えています」

se piensa の部分は「考えられている」、受動態の表現ですね。

hay que + 動詞原型 / tener que + 動詞原型「～しなければならない」

【hay que + 動詞原型】は、特定の誰かではなく、「(誰もが) ～しなければならない」、【tener que + 動詞原型】は「(特定の誰かが) ～しなければならない」というニュアンスになります。

hay que darles の les は、jóvenes「若者たち」のことですね。

en realidad「本当は」「実際は」「現実的には」
necesitar de ○○「○○を必要とする」

demanda「需要」
formación「育成システム」「トレーニングシステム」

ministerio「省庁」

第四段落

demostrar que ○○「○○だと明らかにする・証明する」
política「政策」「政治」

mantener「維持する」「保つ」「(経済的に) 支える」
si bien ○○「たとえ○○であっても」

deber + 動詞原型「～するべきである」
es mejor + 動詞原型「～する方が良い・～するのが良い」

第五段落

de carácter nacional は「国家戦略」「国家プログラム」という感じで捉えると良いです。

atender a ○○「○○を考慮する」「○○に注意を払う」

de las cuales の部分は、「そのうちの」という感じで捉えると良いです。

第六段落

participar「参加する」

se realiza の部分は、realizar の受動態としての表現になります。
「開催される」ということですね。

entrevista individual「個別面談」

a cada uno de los interesados の **a** は「誰々に対して」という感じですね。
「興味関心があるそれぞれの人に対して」という感じですね。

a cargo de ○○「○○の担当である」

psicólogo / psicóloga「心理学者」

asistentes sociales「ソーシャルワーカー」

comprobar「確認する」

voluntad「意志」

dar prioridad a ○○「○○を優先する」

ここでは se da prioridad となっているので、受動態の表現で「優先される」ですね。

ingreso 「収入・所得」「入学」ー ここでは「収入」ですね。
inmediato 「すぐに」

第七段落

oportunidad 「機会」「チャンス」
concreto / concreta 「具体的な」

solicitar 「申し込む」「申請する」
ここでは「必要としている・求めている」という感じで良いです。

preparar 「準備する」「訓練する」
en general 「一般的に」「普通は」

se trabajan の部分は、特定の誰かが働いている、というのではなく、一般的に、という意味なので se trabajan となっているのです。

venta 「販売」「セールス」
atención al cliente 「接客」

auxiliar 「補佐」
administrativo / administrativa 「管理の」「経営の」「行政の」

informático / informática 「情報処理の」
estaciones de servicios 「ガソリンスタンド」

第八段落

se hace, se realiza はどちらも受動態の表現ですね。
どちらも「行われる」という感じになります。

aprendizaje 「学び」「見習い」「習いごと」

posterior 「後の」

seguimiento 「追跡」「フォローアップ」

ここでは、un posterior seguimiento で「フォローアップ」と捉えると良いです。

etapa 「段階」「時期」

第九段落

aunque ○○「○○ではあるが」

crecer 「成長する」「大きくする」

cerca de ○○「およそ○○・約○○」

no estudian **ni** trabajan 「勉強しないし働かない」

ここも、否定の内容を続けるので **ni** で繋いでいますね。

atender 「対応する」

20. Projovent es un programa pensado para preparar a los jóvenes para poder trabajar.

プロホベンは、若者が社会に出られるようになるためのカリキュラムです。

直訳すると

「プロホベンは、若者が働くことが出来るように準備するために考えられたカリキュラムです」という感じになります。

b)

solucionar 「解決する」

21. Este programa existe desde hace más de diez años.

このカリキュラムは 10 年以上前から存在します。

existir 「存在する」

a)

poner en práctica 「実践する」「実施する」

22. La directora nacional de empleo dijo que el problema es que los jóvenes no están preparados para los trabajos.

全国雇用局のディレクターは、問題は、若者が社会に出るための準備が備わっていないことだと言いました。

23. La señora Payseé afirmó que los jóvenes deben estudiar más tiempo.

ペイセー氏は、若者はもっと長い期間学ぶべきだと言いました。

24. Para participar en el programa, se da prioridad a aquellos que más necesitan trabajo.

カリキュラムへの参加は、仕事をより必要としている人が優先されます。

participar en ○○「○○に参加する」

25. Lo primero que Projovent busca es empresas que necesitan trabajadores jóvenes.

プロホベンが優先して探すのは、若い労働者を必要としている企業です。

では、以下に今回の TAREA 4 の記事の日本語訳を記載しておきますので、今後の学習に役立てていきましょう。

プロホベンの追跡調査によると、ウルグアイの若者の 23%が学ばないし働かない、ということなのです。

ウルグアイ国家の失業者の 63%が若者であります。プロホベンの責任者は、「12 年前から始まった、経済的問題を抱える、学も職もない 18 歳から 24 歳の若者の労働市場への参入に支援を目的とする、プロホベンのカリキュラムとの連携により、これらの数値を改善出来る可能性がある」と発言しました。

全国雇用局ディレクターであるサラ・ペイセー氏は「若者たちは差別に苦しんでいる」と発言しました。そして、若者たちは住居を確保すること、医療や教育を受けることに問題を抱えていることは事実です。また、「若者たちのため

にすべきことが沢山ある、と常に考えられていますが、実際に国は若者を必要としています」と発言しました。また、若い労働者の需要はありますが、必要とされるシステムが整っていない、と言及しました。したがって、教育文化省と取り組んでいるのです。

また、ペイサー氏は「この調査は、いくつかのことが変わり始めている」
「最善の雇用政策とは、若者を可能な限り長く教育機関で学ばせることです。たとえ 15 歳から働き始めることができるとしても、そうするべきではありません。最善の教育を受けるために教育機関で学び続けることが一番です」と言明しました。

この国家カリキュラムは、年間 2500 人が受講し、1500 人から 2000 人の若者が仕事にありついています。

このカリキュラムへ参加するためには、心理学者とソーシャルワーカーによって興味のある若者 1 人 1 人に個別面談が実施され、働く意思があるかの確認が行われます。労働市場に出てすぐに収入を得るということをより必要としている若者が優先されます。

プロホベンは、まず、より雇用機会がある地域、若者を必要としている企業を見つけ、そこから特別な課題を課します。一般的には、最も多くの人が働いている部門は、販売や接客、IT 管理アシスタントやガソリンスタンドのアシスタントです。

カリキュラムは教室で 2 ヶ月から 6 ヶ月間実施され、その後、若者が働き始める段階で、企業での研修が実施され、さらに、約 12 ヶ月のフォローアップがあります。

カリキュラムは重要ではありますが、約 80000 人の若者が学ばず仕事をしておらず、プロホベンが年間 2500 人しか対応出来ないため、カリキュラムを成長させる必要があります。

はい。今回は以上となります。

この TAREA 4 の記事を音読しよう、という場合は、
以下のサイトで、発音を確認することが出来ます。

<https://ondoku3.com/ja/>

「ここに読み上げたいテキストを貼りつけてください。」という文字を消し、
そこに読み上げたい（発音を確認したい）スペイン語を貼り付けます。
次に、「言語」を Español に変えます。Español España か Español México で
良いでしょう。速度は「× 1」が標準速度となります。

最後に「読み上げ」をクリックすると、発音を確認出来ます。